

# 愛は南から

町に響く

素敵な人たちを紹介します

## 強い思いが快走支える

愛媛中学駅伝競走大会

男子総合準優勝

御荘中学校 男子チーム



愛媛中学駅伝競走大会 男子総合準優勝の御荘中学校 駅伝男子チーム

後列左より

芝善行先生、山本剛大くん、白石幸誠くん、杉本凌河くん、中川大智くん、山本大愛くん

前列左より

阿部虎治朗くん、西川縁くん、橋岡駿吾くん、菅原黎くん、後藤大和くん

### 準優勝の快挙

「御荘フイニツシユ、準優勝です！」

ケーブルテレビやラジオでその雄姿を見守った方も多いのではないでしょうか。

11月20日に新居浜市東雲競技場で行われた愛媛中学駅伝競走大会で御荘中学校の男子チームが準優勝に輝きました。84校から男子79チーム、女子75チームが出場する大会にあつて、前回大会の5位からさらに順位を上げて準優勝の快挙を成し遂げた御荘中学校男子チーム。監督を務める芝善行先生は「各校のエース級がそろって1区で、主将の橋岡が想定より早く来てくれた。それでレース展開が楽になった」と振り返りました。

### 全員が自己ベスト！成長見える

チームには、前回大会を経験した選手が4人残っていました。芝先生は「悔しいと思う気持ちから『来年は自分がやるんだ』という自覚が芽生えた」といいます。強い思いが快走を支え、今大会では全員が自己ベストを更新して、成長した姿を見せました。

駅伝チームには、陸上以外の部活をしている選手もいます。そのため練習は短い時間の積み重ね。芝先生は「中学駅伝を経験して、走るのが楽しいという気持ちが残れば良い」といいます。



主将の橋岡駿吾くん（3年）

は「1、2年生の頃はやらされていた感じがあったけど、3年生になってから走ることに楽しさがわかってきた。狙っていた優勝はできなかったけど、みんなで支え合って練習できたので、うれしい気持ちのほうが大きかった」と喜びを語りました。駅伝チームの結成は5月頃。準優勝を経験したメンバーを中心に今年も御荘中学校駅伝チームの挑戦が続きます。